

成果と課題及び指導改善のポイント

小学校国語（小学4年生、小学5年生、小学6年生）

小学4年生で成果が見られた設問(◇)と課題が見られた設問(◆)及び出題の趣旨

- | | | | |
|-----------------------------------|----|---|---|
| ◇ 目的や進め方を確認し、司会の役割を果たす | 設問 | 1 | 一 |
| ◇ 登場人物の気持ちについて、場面の移り変わりと結び付けて想像する | 設問 | 3 | 二 |
| ◆ 中心となる語や文を見つけて文章の内容を短くまとめる | 設問 | 4 | 二 |
| ◆ 修飾と被修飾との関係を理解する | 設問 | 4 | 四 |

小学5年生で成果が見られた設問(◇)と課題が見られた設問(◆)及び出題の趣旨

- | | | | |
|-------------------------------|----|---|---|
| ◇ グラフを用いた目的を捉える | 設問 | 2 | 二 |
| ◇ 引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する | 設問 | 2 | 三 |
| ◆ 目的や意図に応じて書き表し方を工夫する | 設問 | 2 | 四 |
| ◆ 修飾と被修飾との関係を理解する | 設問 | 3 | 七 |

小学6年生で成果が見られた設問(◇)と課題が見られた設問(◆)及び出題の趣旨

- | | | | |
|------------------------------|----|---|-----|
| ◇ 目的に応じた取材の進め方を捉える | 設問 | 1 | 一 |
| ◇ 資料を用いた目的を捉える | 設問 | 1 | 三 1 |
| ◆ 目的や意図に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりする | 設問 | 2 | 三 |
| ◆ 目的に応じて、文章から必要な情報を取捨選択し整理する | 設問 | 3 | 五 |

小学校国語の課題に対応した指導改善のポイント（☑してきましょう。）

- 「書くこと」や「読むこと」の領域で、目的に応じて必要な情報を選択して記述する設問や、修飾と被修飾との関係に関する設問に課題が見られました。これらの課題を解決するために、「主体的・対話的で深い学び」の視点を踏まえて、授業を改善することが大切です。
 - 「書くこと」の領域において、書く目的や意図を明確にした上で、事実と感想、意見を区別させたり、相手を意識させたりして書く場面を設定している。
 - 「読むこと」の領域において、目的に応じて、必要な情報を見付けさせるために、中心となる語や文に線を引かせ、その箇所になぜ着目したか、友達と交流させる場面を設定している。
 - 修飾と被修飾との関係を理解させるために、修飾語がどこに係るのか矢印を書き込ませるなど、文の構成を理解する場面を設定している。



正答表とセットになった「指導改善のポイントが分かる資料」も、併せてご覧ください。

集計結果 ※「▼」は「要努力」を示す

	児童生徒数	正答率	無解答率	到達基準	到達状況
県	6,631	65.0	2.1	60.0	

※ 県の結果には、「未習：1なし」かつ「集計対象：1対象」で入力された児童生徒の調査結果が反映されています。

分類・区分別集計

分類	区分	対象設問数 (問)	正答率		無解答率		到達基準	到達状況
			県	県	県	県		
学習指導要領の 内容・領域等	言葉の特徴や使いに関する事項	3	66.6	2.3	60.0			
	我が国の言語文化に関する事項	1	73.7	3.9	70.0			
	話すこと・聞くこと	2	72.6	0.1	65.0			
	書くこと	4	64.8	2.5	60.0			
	読むこと	4	58.0	2.0	55.0			
評価の観点	知識・技能	4	68.4	2.7	62.5			
	思考・判断・表現	10	63.6	1.8	59.0			
問題形式	選択式	10	66.7	1.1	60.0			
	短答式	2	78.1	4.4	70.0			
	記述式	2	43.2	4.8	50.0	▼		

※ 一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の 内容・領域等					評価の観点 知識・技能	問題形式 選択式 短答式 記述式	正答率		無解答率		期待正答率	課題が見られる設問
		言葉の特徴	言語文化	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと			県	県	県	県		
1	一	目的や進め方を確認し、司会の役割を果たす			○		○	○	81.7		0.1		70	
1	二	必要なことを質問する			○		○	○	63.4		0.1		60	
2	一	書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくる			○		○	○	69.1		0.4		60	
2	二一	書く内容の中心を明確にして書く			○		○	○	58.0		0.6		60	○
2	二二	理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫する			○		○	○	49.4		4.1		50	○
2	二三	敬体と常体の違いに注意しながら書く			○		○	○	82.6		4.9		70	
2	二四	送り仮名の付け方について理解する「美しい」	○				○	○	87.7		0.8		70	
2	二五	漢字の「へん」について理解する	○				○	○	73.7		3.9		70	
3	一	登場人物の気持ちについて、叙述を基に捉える			○		○	○	57.5		0.8		60	○
3	二	登場人物の気持ちについて、場面の移り変わり結び付けて想像する			○		○	○	66.0		0.8		50	
4	一	段落相互の関係を捉える			○		○	○	71.4		1.2		60	
4	二	中心となる語や文を見付けて文章の内容を短くまとめる			○		○	○	36.9		5.4		50	○
4	三	主語と述語との関係を理解する	○				○	○	71.6		2.8		60	
4	四	修飾と被修飾との関係を理解する	○				○	○	40.6		3.3		50	○

集計結果 ※「▼」は「要努力」を示す

	児童生徒数	正答率	無解答率	到達基準	到達状況
県	6,878	65.4	2.6	60.0	

※ 県の結果には、「未習：1なし」かつ「集計対象：1対象」で入力された児童生徒の調査結果が反映されています。

分類・区別集計

分類	区分	対象設問数(問)	正答率		無解答率		到達基準	到達状況
			県	県	県	県		
学習指導要領の内容・領域等	言葉の特徴や使い方に関する事項	5	67.9	3.3	68.0	▼		
	話すこと・聞くこと	4	64.7	0.5	60.0			
	書くこと	4	64.2	1.8	52.5			
	読むこと	4	64.3	4.4	57.5			
評価の観点	知識・技能	5	67.9	3.3	68.0	▼		
	思考・判断・表現	12	64.4	2.2	56.7			
問題形式	選択式	13	69.8	1.6	62.3			
	短答式	1	72.8	5.9	70.0			
	記述式	3	44.1	5.7	46.7	▼		

※ 一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等				評価の観点	問題形式			正答率		無解答率		期待正答率	課題が見られる設問
		言葉の特徴	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと		選択式	短答式	記述式	県	県				
1	一	司会の役割を果たしながら、話し合いを進める	○					○			73.1	0.3	70		
1	二	話の内容が明確になるように、話の構成を考える	○					○			61.5	0.3	60		
1	三	必要なことを質問しながら聞き、自分が聞きたいことの内容を捉える	○					○			71.7	0.3	60		
1	四	互いの立場や意図を明確にしなが話し合い、考えを広げたりまとめたりする	○						○		52.5	1.1	50		
2	一	目的や意図に応じて、文章全体の構成を考える		○				○			73.8	0.4	60		
2	二	グラフを用いた目的を捉える		○				○			74.5	0.4	60		
2	三	引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する		○				○			74.5	0.5	50		
2	四	目的や意図に応じて書き表し方を工夫する		○					○		33.9	5.8	40	○	
2	五	文脈に即して、漢字を正しく使う「細かく」	○						○		72.8	5.9	70		
3	一	語句を文章の中で正しく使う「はぐくむ」	○						○		69.7	1.1	70	○	
3	二	目的に応じて、必要な情報を見付ける			○				○		75.5	1.2	60		
3	三	文と文との接続の関係を理解する	○						○		91.8	1.3	70		
3	四	文章全体の構成を捉える			○				○		62.9	1.9	60		
3	五	叙述を基に内容を捉える			○				○		72.8	4.2	60		
3	六	主語と述語との関係を理解する	○						○		48.9	3.5	70	○	

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等				評価の観点			問題形式			正答率		無解答率		期待正答率	課題が見られる設問
		言葉の特徴	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識・技能	思考・判断・表現		選択式	短答式	記述式	県		県			
3	七	修飾と被修飾との関係を理解する	○										56.3		4.7	60	○
3	八	文章を読んでまとめた意見や感想を共有する			○						○		46.0		10.3	50	○

集計結果 ※「▼」は「要努力」を示す

	児童生徒数	正答率	無解答率	到達基準	到達状況
県	6,784	69.6	3.4	58.9	

※ 県の結果には、「未習：1なし」かつ「集計対象：1対象」で入力された児童生徒の調査結果が反映されています。

分類・区分別集計

分類	区分	対象設問数 (問)	正答率		無解答率		到達基準	到達状況
			県	県	県	県		
学習指導要領の 内容・領域等	言葉の特徴や使いに関する事項	5	74.0	2.9	62.0			
	話すこと・聞くこと	4	79.5	0.8	60.0			
	書くこと	5	68.7	1.1	58.0			
	読むこと	4	55.2	9.4	55.0			
評価の観点	知識・技能	5	74.0	2.9	62.0			
	思考・判断・表現	13	67.9	3.6	57.7			
問題形式	選択式	10	77.5	0.7	61.0			
	短答式	4	76.1	4.3	65.0			
	記述式	4	43.2	8.9	47.5	▼		

※ 一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の 内容・領域等				評価の観点 知識・技能 思考・判断・表現	問題形式			正答率		無解答率		期待正答率	課題が見られる設問
		言葉の特徴 話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと			選択式	短答式	記述式	県	県				
1	一	目的に応じた取材の進め方を捉える	○			○				77.3	0.1	60			
1	二	目的に応じたメモの取り方を捉える	○			○				93.7	0.1	70			
1	三1	資料を用いた目的を捉える	○			○				82.8	0.4	60			
1	三2	目的や意図に応じて、取材内容を基に自分の考えをまとめる	○			○		○		64.0	2.7	50			
2	一	材料の集め方を捉える		○		○				86.1	0.1	70			
2	二	目的や意図に応じて、書き表し方を工夫する		○		○				83.8	0.2	60			
2	三	目的や意図に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりする		○		○		○		32.1	3.1	40	○		
2	四	文と文との接続の関係を理解する	○			○		○		50.5	7.1	60	○		
2	五	資料を用いて、書き表し方を工夫する		○		○				67.5	0.7	60			
2	六	文章全体の構成や展開を考える		○		○				73.8	1.4	60			
2	七	日常よく使われる敬語を理解する	○			○				61.4	1.0	50			
3	一	要旨を把握する		○		○				77.8	1.7	60			
3	二	目的に応じて、文章から必要な情報を見付ける		○		○		○		66.5	6.0	60			
3	三	文と文との接続の関係を理解する	○			○		○		71.1	2.0	60			
3	四(1)	文脈に即して漢字を正しく読む「再び」	○			○		○		96.4	1.8	70			

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等					評価の観点			問題形式			正答率		無解答率		期待正答率	課題が見られる設問
		言葉の特徴	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと		知識・技能	思考・判断・表現		選択式	短答式	記述式	県		県			
3	四(2)	文脈に即して漢字を正しく読む「都合」	○					○			○		91.0		2.4	70		
3	五	目的に応じて、文章から必要な情報を取捨選択し整理する			○			○			○		33.7		11.5	50	○	
3	六	中心となる語や文を見付けて要約する			○			○			○		43.0		18.5	50	○	